

【表紙】

【提出書類】 有価証券届出書の訂正届出書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年 6月23日

【発行者名】 インヴィンシブル投資法人

【代表者の役職氏名】 執行役員 福田 直樹

【本店の所在の場所】 東京都港区六本木六丁目10番 1号六本木ヒルズ森タワー

【事務連絡者氏名】 コンソナント・インベストメント・マネジメント株式会社
代表取締役社長 福田 直樹

【電話番号】 03-5411-2731

【届出の対象とした募集（売出）内国投資
証券に係る投資法人の名称】 インヴィンシブル投資法人

【届出の対象とした募集（売出）内国投資
証券の形態及び金額】 形態：投資証券
発行価額の総額：一般募集 127億円
売出価額の総額：オーバーアロットメントによる売出し
12億円

(注1) 発行価額の総額は、平成26年6月11日（水）現在の株式会社東京証券取引所における終値を基準として算出した見込額です。
但し、今回の募集の方法は、引受人が発行価額にて買取引受けを行い、当該発行価額と異なる価額（発行価格）で一般募集を行うため、一般募集における発行価格の総額は上記の金額とは異なります。

(注2) 売出価額の総額は、平成26年6月11日（水）現在の株式会社東京証券取引所における終値を基準として算出した見込額です。

安定操作に関する事項

1. 今回の募集及び売出しに伴い、本投資法人の発行する上場投資口について、市場価格の動向に応じ必要があるときは、金融商品取引法施行令第20条第1項に規定する安定操作取引が行われる場合があります。
2. 上記の場合に安定操作取引が行われる取引所金融商品市場を開設する金融商品取引所は、株式会社東京証券取引所です。

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

平成26年6月23日提出の有価証券届出書の記載内容の一部について訂正すべき事項がありましたので、当該箇所を訂正するため、本有価証券届出書の訂正届出書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第二部 追完情報

3. インベストメント・ハイライト

(5) スポンサーによるサポートを通じた成長戦略

③ フォートレス・グループの概要

4. ポートフォリオ構築方針

(1) ホスピタリティー・マーケットの動向～ホテル物件の強固なファンダメンタルズ

(2) 主要都市圏における住居物件賃貸市場の動向～住居物件の強固なファンダメンタルズ

7. 不動産等の取得及び売却

(1) 第21期末後取得済資産及び取得予定資産（本件ホテル物件）の概要等

② 各第21期末後取得済資産及び取得予定資産の概要

(2) 取得予定資産取得後のポートフォリオの概要

第四部 特別情報

第2 その他

3 【訂正箇所】

訂正箇所は___罫で示してあります。

第二部【追完情報】

3. インベストメント・ハイライト

(5) スポンサーによるサポートを通じた成長戦略

③ フォートレス・グループの概要

<訂正前>

(前略)

フォートレス・グループは2本の日本特化不動産ファンド「フォートレス・ジャパン・オポチュニティ・ファンドI」及び「フォートレス・ジャパン・オポチュニティ・ファンドII」を運用しています。当該ファンドのコミットメントベースの出資額は合計2,000億円を超えており、日本において住居・オフィスビル・商業施設等、多岐に渡る不動産物件に対する投資実績を有しています。当該ファンドの平成26年3月31日現在の日本における運用不動産の資産規模は合計3,000億円を超え、31物件のホテル及び現在開発中のホテル3物件並びに住居物件を1,000億円以上（取得価格ベース）の規模で保有しています。

(後略)

<訂正後>

(前略)

フォートレス・グループは2本の日本特化不動産ファンド「フォートレス・ジャパン・オポチュニティ・ファンドI」及び「フォートレス・ジャパン・オポチュニティ・ファンドII」を運用しています。当該ファンドのコミットメントベースの出資額は合計2,000億円を超えており、日本において住居・オフィスビル・商業施設等、多岐に渡る不動産物件に対する投資実績を有しています。当該ファンドの平成26年3月31日現在の日本における運用不動産の資産規模は合計3,000億円を超え、ホテル（開発中のホテル3物件を含みます。）及び住居物件を合計31件、1,000億円以上（取得価格ベース）の規模で保有しています。

(後略)

4. ポートフォリオ構築方針

(1) ホスピタリティー・マーケットの動向～ホテル物件の強固なファンダメンタルズ

<訂正前>

(前略)

過去18か月間の円安傾向により、外国人がより安く訪日旅行をできるようになる一方で、日本人の海外旅行が割高になったこと等を背景として、国内における日本人の宿泊客は平成22年から平成25年までに年間平均で9.6%増加しています。

(後略)

<訂正後>

(前略)

過去18か月間の円安傾向により、外国人がより安く訪日旅行をできるようになる一方で、日本人の海外旅行が割高になったこと等を背景として、国内における日本人の宿泊客は平成22年から平成25年までに年間平均で9.4%増加しています。

(後略)

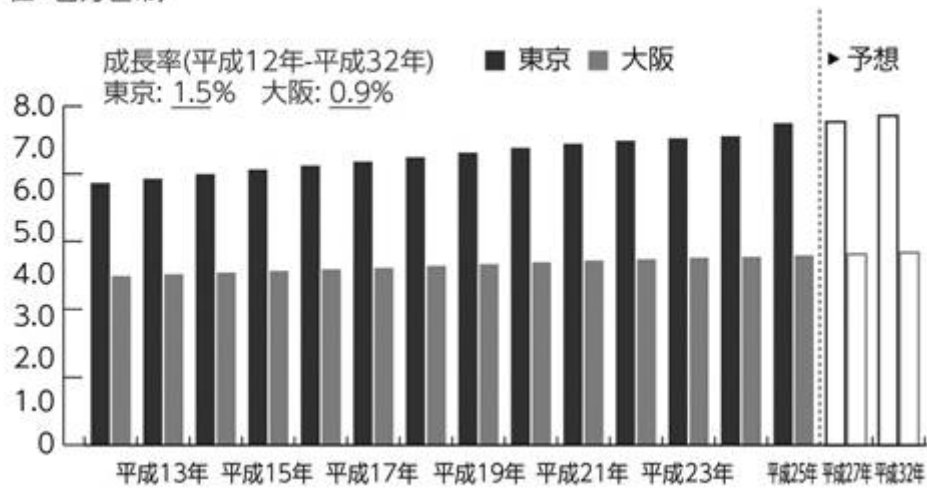
(2) 主要都市圏における住居物件賃貸市場の動向～住居物件の強固なファンダメンタルズ

<訂正前>

(前略)

<東京と大阪における世帯数の推移>

(単位：百万世帯)



出所：東京都、大阪府、国立社会保障・人口問題研究所のデータに基づき本資産運用会社が作成

(注) 平成12年から平成25年は東京都及び大阪府が発表している実績値です。平成27年及び平成32年は国立社会保障・人口問題研究所による予測です。

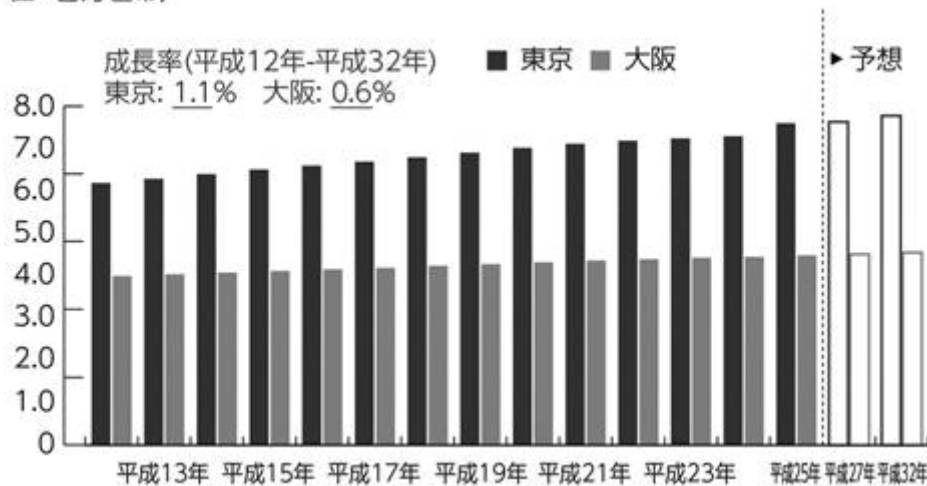
(後略)

<訂正後>

(前略)

<東京と大阪における世帯数の推移>

(単位：百万世帯)



出所：東京都、大阪府、国立社会保障・人口問題研究所のデータに基づき本資産運用会社が作成

(注) 平成12年から平成25年は東京都及び大阪府が発表している実績値です。平成27年及び平成32年は国立社会保障・人口問題研究所による予測です。

(後略)

7. 不動産等の取得及び売却

(1) 第21期末後取得済資産及び取得予定資産（本件ホテル物件）の概要等

② 各第21期末後取得済資産及び取得予定資産の概要

<訂正前>

(前略)

D4 : マイステイズ新浦安カンファレンスセンター

(中略)

(p) 一時金の運用益	0千円
(q) 資本的支出	11,469千円
(r) FF&Eリザーブ	15千円
⑤純収益 = [④ + (p) - (q) - (r)]	296,818千円

(後略)

<訂正後>

(前略)

D4 : マイステイズ新浦安カンファレンスセンター

(中略)

(p) 一時金の運用益	0千円
(q) 資本的支出	11,469千円
(r) FF&Eリザーブ	15,822千円
⑤純収益 = [④ + (p) - (q) - (r)]	296,818千円

(後略)

(2) 取得予定資産取得後のポートフォリオの概要

<訂正前>

(前略)

B9	新宿アイランド	東京都新宿区西新宿六丁目5番1号	信託受益権	715	0.6	542	(注8)
----	---------	------------------	-------	-----	-----	-----	------

(中略)

C1	ストップパーキング神田須田町	東京都千代田区神田須田町一丁目22番7、22番15	信託受益権	97	0.1	92	(注6)
----	----------------	---------------------------	-------	----	-----	----	------

(後略)

<訂正後>

(前略)

B9	新宿アイランド	東京都新宿区西新宿六丁目5番1号	不動産	715	0.6	542	(注8)
----	---------	------------------	-----	-----	-----	-----	------

(中略)

C1	ストップパーキング神田須田町	東京都千代田区神田須田町一丁目22番7、22番15	不動産	97	0.1	92	(注6)
----	----------------	---------------------------	-----	----	-----	----	------

(後略)

第四部【特別情報】

第2【その他】

<訂正前>

(前略)

6 新投資口発行及び投資口売出届出目論見書の表紙及び表紙裏以下に以下の内容を記載します。

(中略)

「3. 住居物件の強固なファンダメンタルズ」

「主要都市圏における住居物件賃貸市場の安定的成長」

「需要の増大」

東京と大阪における世帯数の推移

表中の「成長率（平成12年 - 平成32年）」の「東京：1.5% 大阪：0.9%」

(中略)

「4. スポンサーによる潜在的な外部成長機会」

「フォートレス・グループの概要」

フォートレス・グループは、日本において31物件のホテル及び現在開発中のホテル3物件並びに住居物件を1,000億円以上(取得価格ベース)保有

(後略)

<訂正後>

(前略)

6 新投資口発行及び投資口売出届出目論見書の表紙及び表紙裏以下に以下の内容を記載します。

(中略)

「3. 住居物件の強固なファンダメンタルズ」

「主要都市圏における住居物件賃貸市場の安定的成長」

「需要の増大」

東京と大阪における世帯数の推移

表中の「成長率（平成12年 - 平成32年）」の「東京：1.1% 大阪：0.6%」

(中略)

「4. スポンサーによる潜在的な外部成長機会」

「フォートレス・グループの概要」

フォートレス・グループは、ホテル（開発中のホテル3物件を含みます。）及び住居物件を合計31件、1,000億円以上(取得価格ベース)保有

(後略)